

## ごみ排出量の予測

### 1 ごみ排出量の推計方法

#### (1) 人口の将来推計

第六次総合計画・基本計画改訂版（令和5年3月）に示された、将来人口の推計値を使用しますが、総合計画の示された人口は5年毎であるため、二次式により各年度の人口を算出しました。

表 1 将来人口

和暦	西暦	将来人口	備考
令和 5 年	2023 年	308,415	計算値
令和 6 年	2024 年	308,198	計算値
令和 7 年	2025 年	307,994	総合計画
令和 8 年	2026 年	307,584	計算値
令和 9 年	2027 年	307,187	計算値
令和 10 年	2028 年	306,730	計算値
令和 11 年	2029 年	306,213	計算値
令和 12 年	2030 年	305,551	総合計画
令和 13 年	2031 年	304,999	計算値
令和 14 年	2032 年	304,302	計算値
令和 15 年	2033 年	303,545	計算値

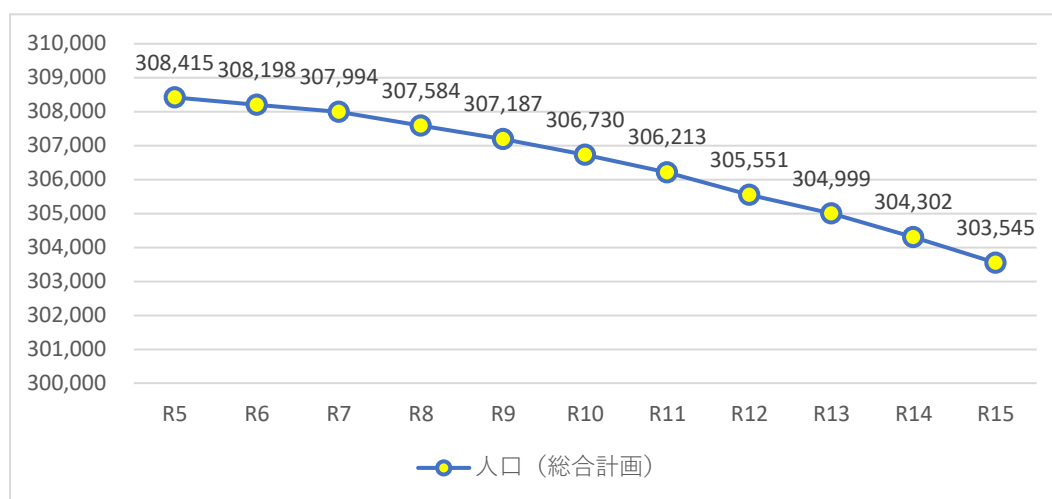


図 1 将来人口

## (2) ごみ発生量の推計方法

家庭から排出されるごみ（生活系ごみ）については、過去10年間の1人1日あたりのごみ排出量の実績値をもとにトレンド法で1人1日あたりのごみ排出量を予測し、推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出しました。

事業系ごみについては、過去10年間の1日あたりのごみ排出量の実績値をもとにトレンド法で推計し、1日あたりごみ排出量推計結果×年間日数で算出しました。

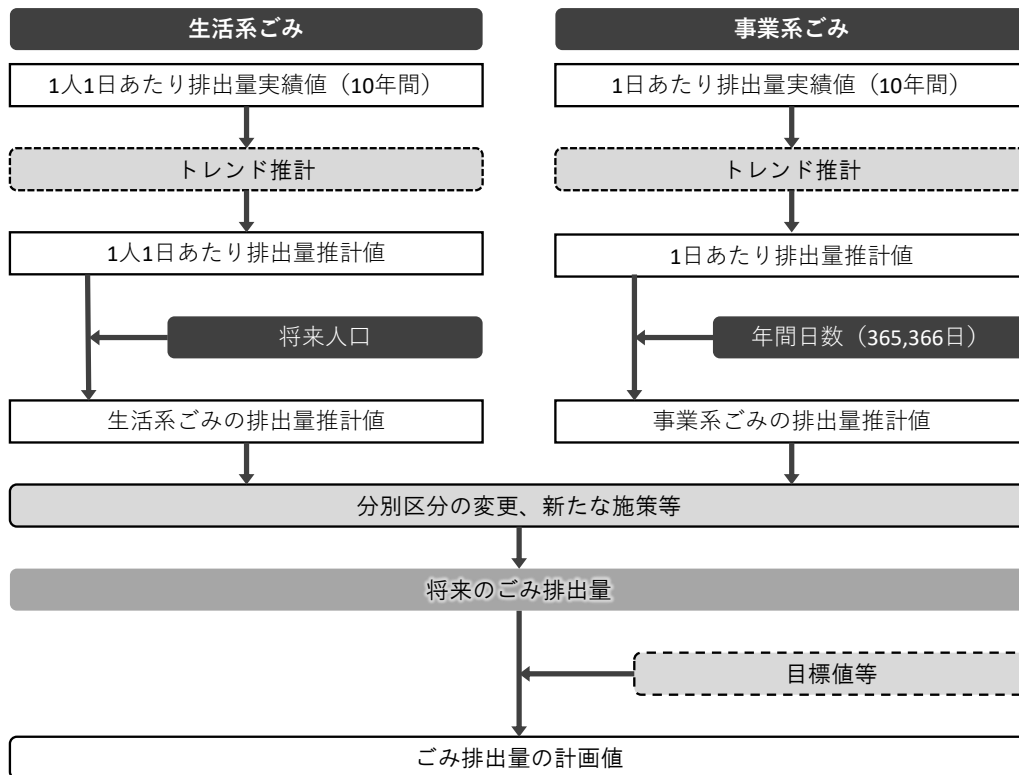


図2 ごみ排出量の推計フロー

## 2 ごみ排出量の予測結果

今後、追加的な対策を見込まないまま推移した場合のごみ排出量の予測結果は、次のとおりです。

### (1) ごみ総排出量

ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ排出量の予測は、図3に示すとおりであり、横ばいで推移すると予測されます。

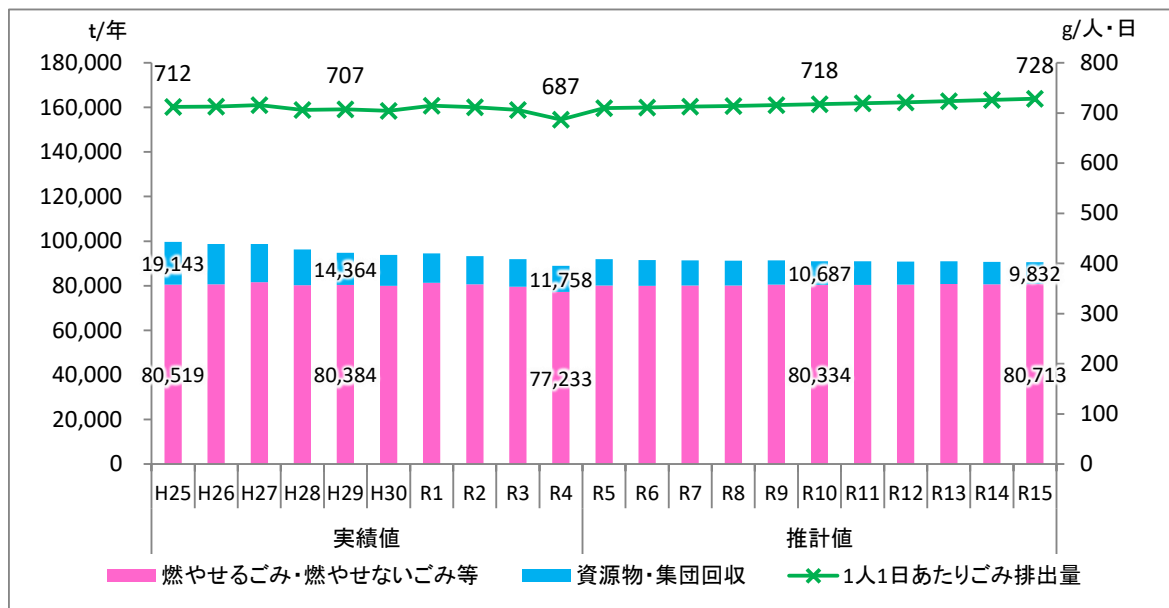


図3 ごみ総排出量の予測

### (2) 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみ排出量及び1人1日あたり家庭系ごみ排出量の予測は、図4に示すとおりであり、緩やかな減少傾向を示すと予測されます。

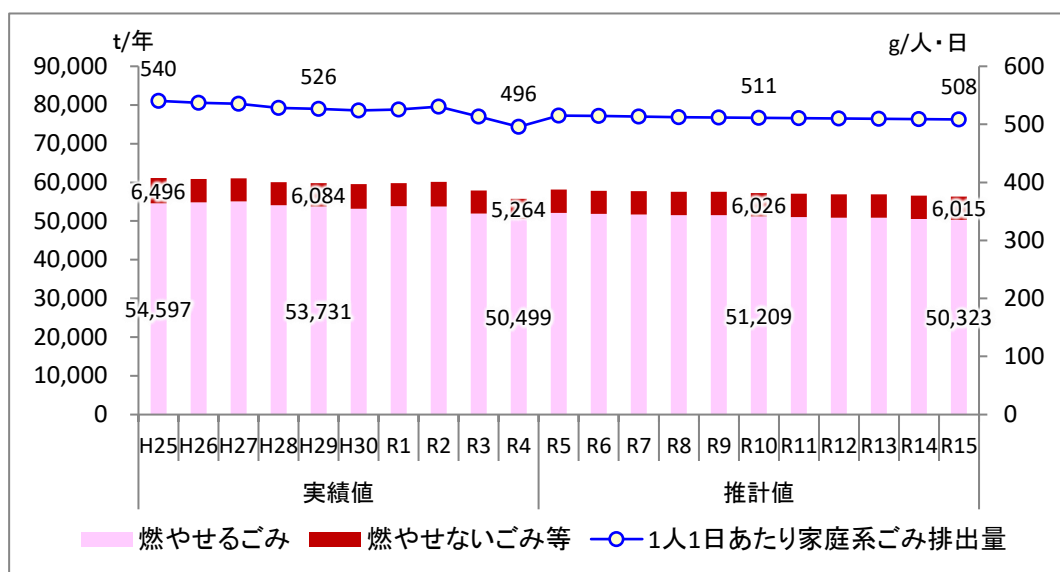


図4 家庭系ごみ排出量の予測

### (3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみ排出量の予測は、図5に示すとおりであり、増加傾向を示すと予測されます。

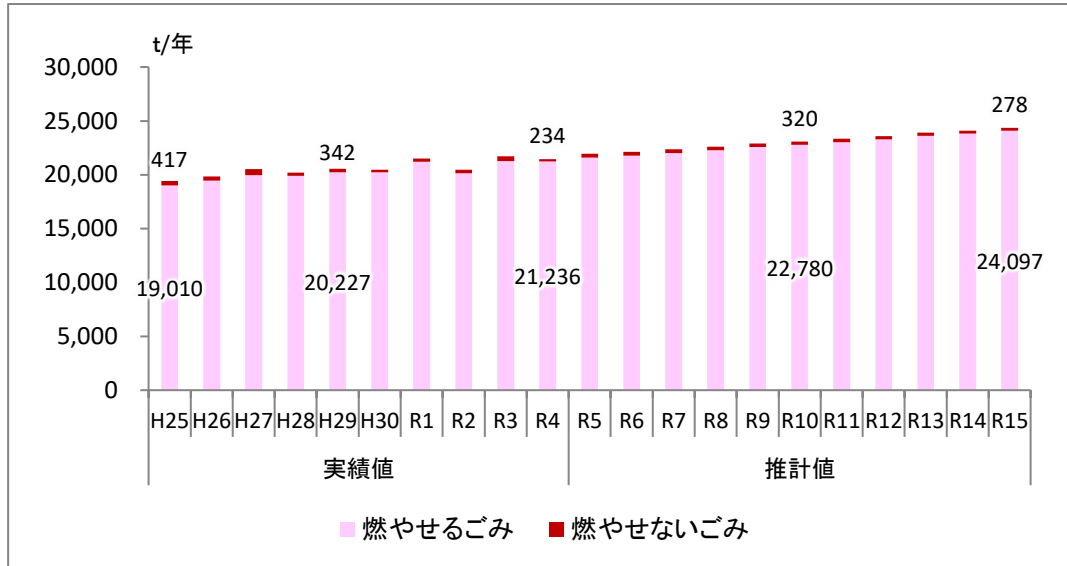


図5 事業系ごみ排出量の予測

### (4) 資源化量

資源化量の予測は、図6に示すとおりであり、資源化率は減少傾向を示すと予測されます。なお、缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装等は、資源化施設で不純物を除いた後の資源回収量で計上しています。

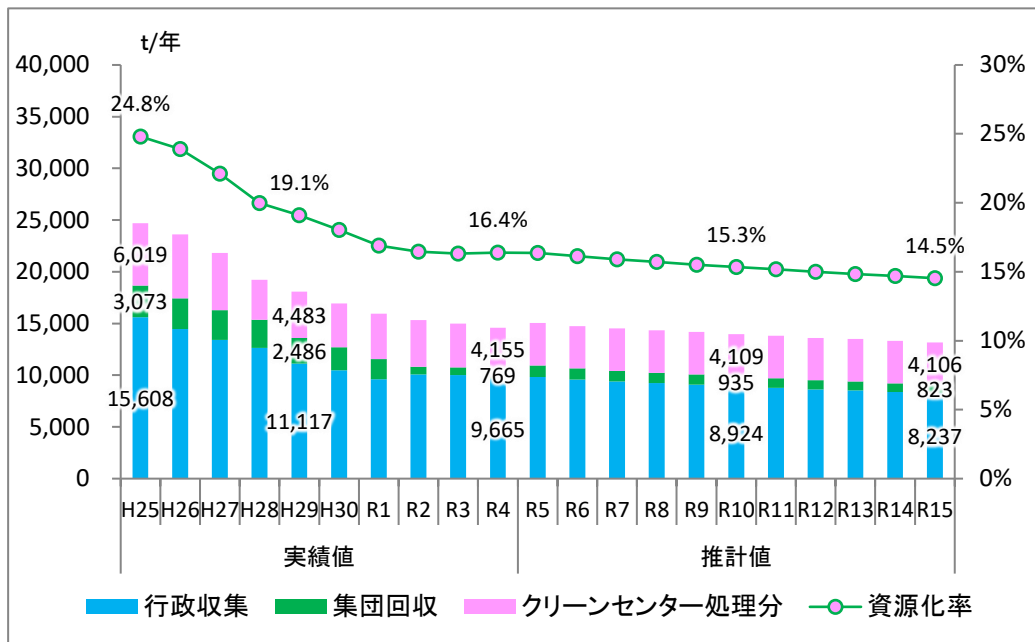


図6 資源化量の予測

## (5) 最終処分量

最終処分量（単年）の予測は、図7に示すとおりであり、ごみ総排出量と同様に横ばいで推移すると予測されます。また、内津北山最終処分場埋立率（累計）の予測は、図8に示すとおりであり、当初計画（埋立率年間約2%、埋立期間約50年）を下回る水準で推移すると予測されます。

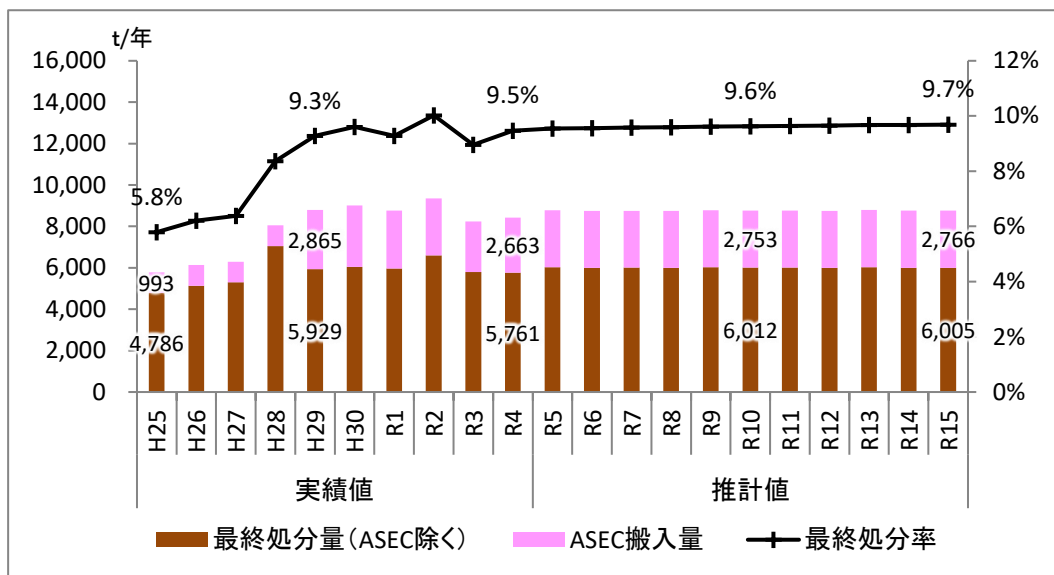


図7 最終処分量（単年）の予測

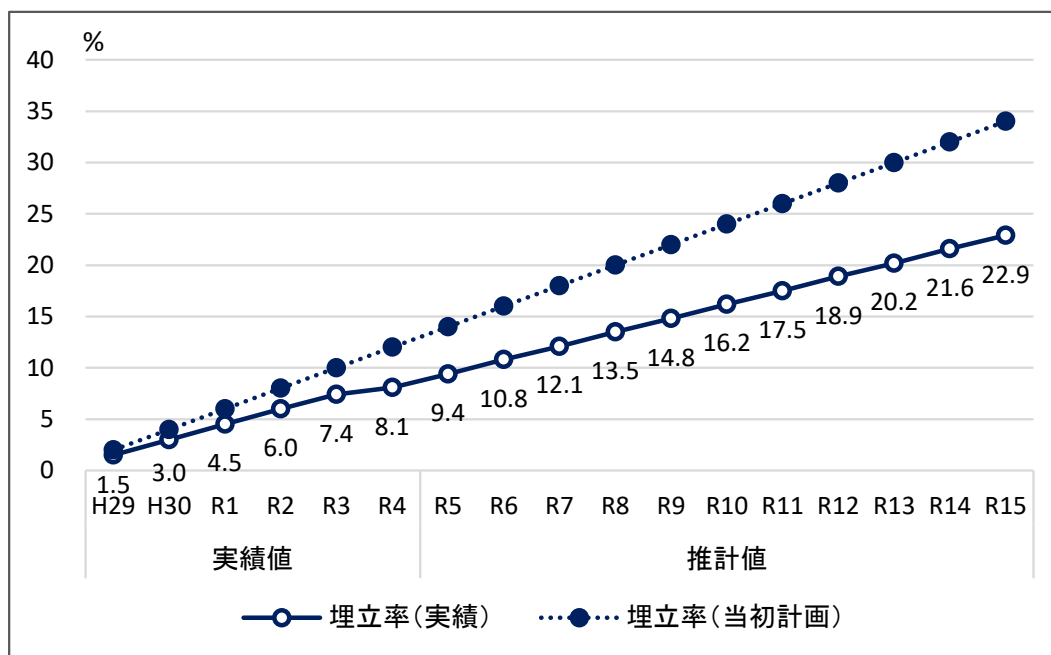


図8 内津北山最終処分場埋立率（累計）の予測